

■科目の基本情報

・科目番号	01EG104
・授業科目名	感性認知脳科学基礎論2
・授業形態	1(講義)
・標準履修年次	1年次
・開設学期	秋ABC
・曜時限等	随時
・教室	総合研究棟D マルチメディア室
・単位数	3

■担当教員等

・担当教員名	松本正幸
・ティーチングフェロー(TF)	N/A
・ティーチングアシスタント(TA)	N/A
・オフィスアワー等(連絡先含む)	総合研究棟D516室、平日9:00~17:00、電話:6012

■受講によって得られる知識・能力等

・教育目標との関連

人間の感性やこころと脳機能とを関連づけようとする基礎研究にとって、感性科学、行動科学、神経科学の基礎知識を広く習得し、各研究領域の最先端の研究動向を理解することは必要不可欠であり、本専攻の教育目標と合致する。

・授業の到達目標 (Aim of Course)

感性科学、行動科学、神経科学の基礎知識を広く習得し、各研究領域の最先端の研究動向を理解する。

■授業内容等

・授業概要 (Course Description)

国内・外より招聘する講師による基礎編、応用編の講義、informal discussionを通して 感性認知脳科学専攻の各領域の最先端の研究動向を学ぶ。

・キーワード

感性情報学、感性デザイン学、感性人間工学、比較認知科学、行動神経科学、精神機能障害学、システム脳科学、神経分子機能学、脳型情報処理機構学

・授業計画 (Time Table)

- 1 感性情報学
- 2 睡眠科学
- 3 精神機能障害学
- 4 行動神経科学
- 5 感性人間工学
- 6 比較認知科学
- 7 システム脳科学1
- 8 システム脳科学2
- 9 感性デザイン学

・履修条件 (Prerequisite)

感性科学、行動科学、神経科学に興味を持ち、積極的にdiscussionに参加すること。

■成績評価方法

・評価方法

出席態度とレポート。

・割合

出席態度とレポートを総合的に評価する。

・評価基準

discussionに積極的に参加し、レポートの中で講義内容と自身の考察について適切にまとめられていること。

■受講するにあたって

・教材・参考文献、配布資料等(Reading Materials)

各回の講師が指定する論文、配布資料。

・授業外における学習方法

各回の講師が指定する論文をあらかじめ読んでおくこと。

・受講生に望むこと(Recommended Background)

積極的にdiscussionに参加すること。

・欠席の場合の措置について

研究に関するイベント(学会等)に参加する場合は欠席扱いとしない。

・備考